

令和 8 年度全国学力・学習状況調査の結果と考察

阿波市教育委員会

1 はじめに

令和 8 年度全国学力・学習状況調査が、全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象に実施されました。

本市におきましては、阿波市全体の結果概要と改善の方策等について、広く市民の皆様にご公表し、保護者や地域の方々からご意見等をいただくことにより、今後の学力向上施策に反映していきたいと考えております。ご理解・ご協力くださいますよう、お願いいたします。

2 全国学力・学習状況調査の概要について

(1) 調査対象

小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年の児童生徒

(2) 調査内容

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語、算数とし、中学校調査は、国語、数学及び英語とする。

国語、算数・数学は、冊子を用いた筆記方式で実施する。中学校英語は、生徒が活用する ICT 端末等を用いた、文部科学省 CBT システムによるオンライン方式（以下「CBT」（= Computer Based Testing）という。）で実施する。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 出題形式について、記述式の問題を一定割合で出題する。英語「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式とする。

(エ) 英語の出題には、学力の状況や変化を正確に把握することを主目的とする非公開問題を含む。

イ 質問調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査を、児童生徒が活用する ICT 端末等を用いて CBT で実施する。

(3) 実施日

令和 8 年 4 月 23 日（木）

※児童生徒質問調査の実施日については、各校で異なる。

3 調査結果

(1) 教科に関する調査結果

① 国語について

○ 小学校

全体の平均正答率は、全国平均を下回っておりますが、習熟が進んでいる出題内容としては、「知識・技能」の「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」が挙げられます。一方、課題が見られた出題内容としては、「思考・判断・表現」の「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること」や「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」が挙げられます。

○ 中学校

全体の平均正答率は、全国平均を少し下回っておりますが、習熟が進んでいる出題内容としては、「知識・技能」の「文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使う」や「思考・判断・表現」の「互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめる」が挙げられます。一方、課題が見られた出題内容としては、「思考・判断・表現」の「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと」や「目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈する」が挙げられます。

② 算数・数学について

○ 小学校

全体の平均正答率は、全国平均を下回っておりますが、習熟が進んでいる出題内容としては、「知識・技能」の「立方体の体積の計算による求め方について理解している」が挙げられます。一方、課題が見られた出題内容としては、「知識・技能」の「直方体の箱の形を構成する面について理解している」や「基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶ」、「体積の意味について理解している」が挙げられます。

○ 中学校

全体の平均正答率は、全国平均を下回っておりますが、習熟が進んでいる出題内容としては、「知識・技能」の「反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、 x の値に対応する y の値を求める」や「同類項の意味を理解している」が挙げられます。一方、課題が見られた出題内容としては、「知識・技能」の「2直線が平行になるための条件を理解している」や「起こりうる場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求める」、「事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てる」が挙げられます。

(2) 質問紙調査の結果

○ 学習時間

「学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、3時間以上と回答した割合は、全国平均を下回っていますが、2～3時間と回答した割合は15.3%で、全国平均の11.1%を上回っています。

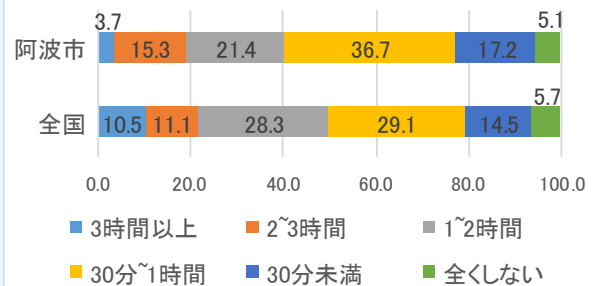
中学3年生の場合、3時間以上と回答した割合は、全国平均を下回っていますが、2～3時間、1～2時間と回答した割合は、それぞれ21.4%、45.5%で、全国平均の21.2%、31.5%を上回っています。

一方、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間を含む）」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、4時間以上と回答した割合は全国平均を下回っていますが、3～4時間と回答した割合は、全国平均と同じ、2～3時間と回答した割合は、全国平均を上回っています。

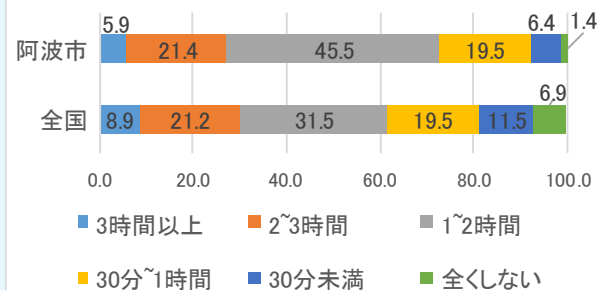
中学3年生の場合、4時間以上と回答した割合は全国平均を下回っていますが、3～4時間、2～3時間、1～2時間と回答した割合は、それぞれ10.5%、19.1%、25.0%で、全国平均の8.0%、16.8%、22.6%を上回っています。

また、平日、休日ともに、家庭学習を全くしないと答えた割合は、本市の小学6年生、中学3年生ともに、全国平均より少ないという結果が出ています。

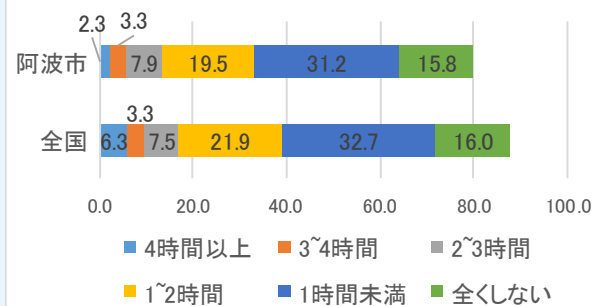
平日1日の勉強時間(小学校)



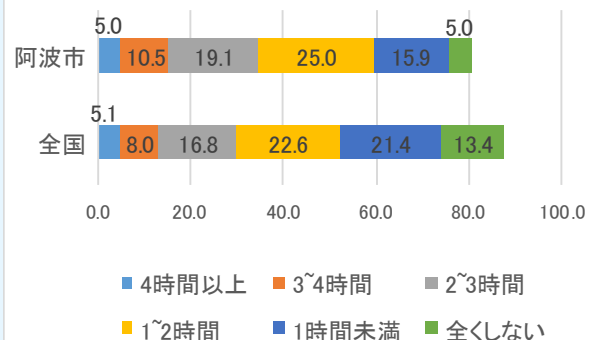
平日1日の勉強時間(中学校)



土日1日の勉強時間(小学校)



土日1日の勉強時間(中学校)



※グラフにおいて、無回答は含まないため、100%に達していないものがあります。

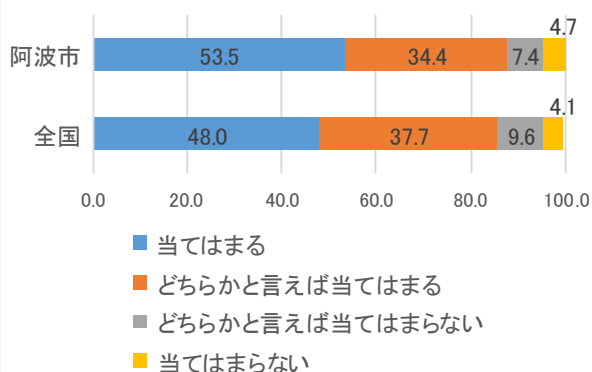
○ 学校に行くのは楽しいと思いますか
「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、87.9%でした。

また、阿波市の中学3年生の場合、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合は、86.4%でした。

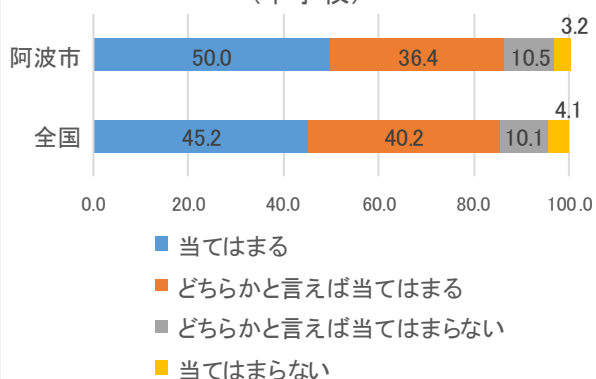
「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答した割合を合わせた数値は、小学6年生・中学3年生ともに、全国平均を上回っていますが、「どちらかと言えば当てはまらない」や「当てはまらない」と回答した児童生徒が、一定数見られます。

したがって、今後も、児童生徒が楽しいと感じる授業や教育活動の充実を図っていくことが重要であると捉えています。

学校に行くのは楽しいと思いますか
(小学校)



学校に行くのは楽しいと思いますか
(中学校)



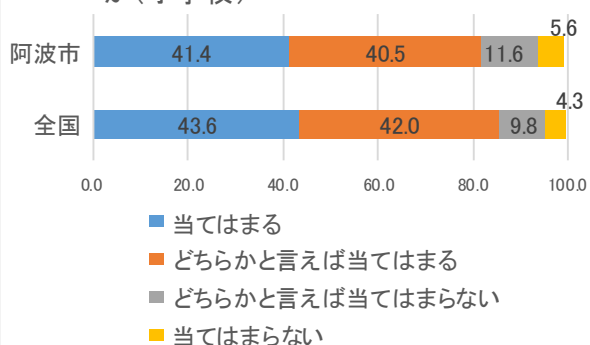
○ 自分には、よいところがあると思いますか

「自分には、よいところがあると思いますか」の項目では、阿波市の小学6年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、81.9%で、全国平均を下回っています。

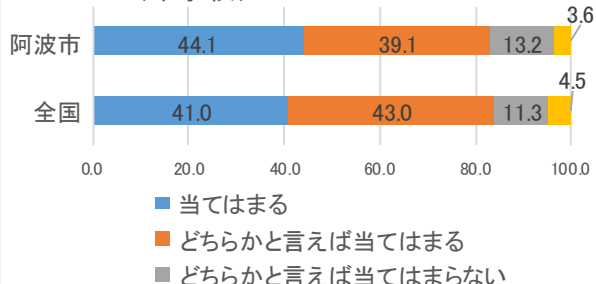
一方、阿波市の中学3年生の場合、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合は、83.2%で、全国平均を少し下回っています。

今後も全ての教育活動を通じて、児童生徒が自分のよさに気づいたり、小さな成功体験を積み重ねたりできる機会を一層充実させ、一人ひとりの自己有用感や自己肯定感を育むことができるよう、取り組んでまいります。

自分には、よいところがあると思いますか(小学校)



自分には、よいところがあると思いますか(中学校)



○ 先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか

「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の項目では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学6年生の割合は、阿波市が92.5%、全国平均が91.4%でした。中学3年生では、阿波市が91.8%、全国平均が90.9%でした。

小学6年生、中学3年生、ともに全国平均を上回っていました。

○ 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

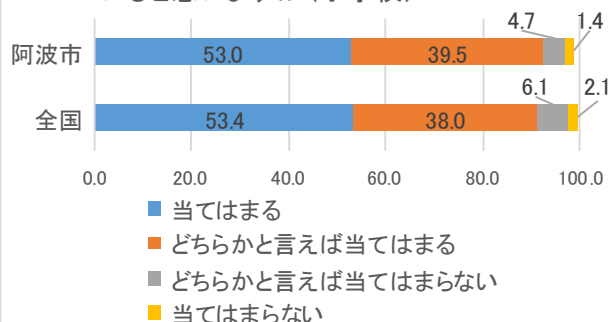
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目では、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した小学6年生の割合は、阿波市が75.4%、全国平均が70.6%で全国平均を上回っていました。

一方、中学3年生では、阿波市が70.9%、全国平均が71.9%で、全国平均を下回っていました。

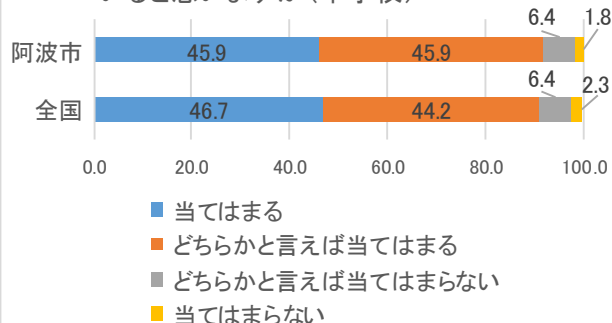
今後は、校内における相談窓口の周知徹底や、タブレット端末を活用した気軽に相談できる環境づくりなどを進めるとともに、家庭や専門機関との連携強化をより一層図りながら、相談体制の充実に努めていく必要があると捉えています。

以上の結果から、おおむね阿波市内の児童生徒は、楽しく学校に通い、安全・安心な教育環境の中で、学校生活を送ることができていると思われます。特に小学生の土日の勉強時間については、全国平均を下回っています。今後、休日の充実した時間を大切にしつつ、家庭学習の時間を確保できるよう、望ましい生活習慣を育んでいきます。

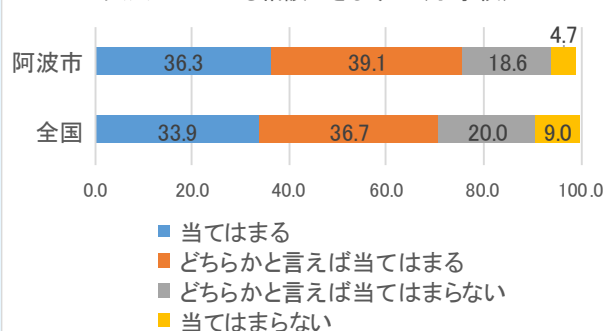
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか(小学校)



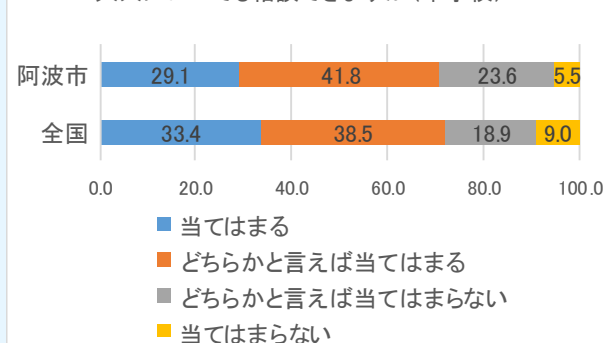
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか(中学校)



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(小学校)



困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか(中学校)



4 阿波市の学力向上への取組方針

- 学力向上のための研修会を実施し、指導方法の工夫改善に努めます。
- 学力向上推進講師を派遣し、T T指導や個別支援を行います。
- I C Tを活用した学力向上のための取組を推進します。
- 学力向上推進コーディネーターが学力向上推進講師への助言を行います。
- 授業公開や研修会等を実施し、小・中学校の連携体制の構築を進めます。
- 読書活動の推進を図り、児童生徒が読書を通して言語に関する興味や関心を高める取組を促進します。
- 家庭と連携して、家庭学習の充実を図ります。

5 保護者・地域の皆さんへ

子どもたちの学力向上に向けて、生活リズムを整え、学習習慣や読書習慣を身に付けるためには、学校と家庭や地域が連携しながら進めることが大切です。

今後とも、家庭学習の充実や基本的な生活習慣の確立に向けて、次の点について、ご理解・ご協力をよろしくお願いします。

- 家庭で学習する習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 毎日決まった時間に学習するなど、計画を立てて学習すること。
 - ・ 学校の宿題を確実にすること。
 - ・ 予習、復習に取り組むこと。
 - ・ 学習に集中できる環境をつくること。
- 基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 早寝・早起き・朝ごはんを習慣付けること。
 - ・ 家族のふれあいや話し合いの時間を設けること。
 - ・ テレビゲームやスマホなどの使用についてのルールを決めること。
- 新聞や本を読む習慣を身に付けさせましょう。
 - ・ 親子読書や読み聞かせなど、新聞や本に親しむ環境をつくること。
 - ・ 新聞や本を読むことで、読解力や語彙力を高めること。
 - ・ 社会の出来事に興味を持ち、一般的な知識を身に付けること。